

幼 兒 教 育

第二十二卷
第六號

大正十一年六月十五日發行

親たるつこめ

東京市視學 佐々木 吉三郎

一、兩親は一つ心を以て眞の愛を子供に注いで頂きたいものです。

不良少年は兩親が心を合せて眞の愛を注がない事から起つたものです。附屬小學校の帽子をかぶつて市内を荒しまわつてゐる不良少年がありました。私自身その子供に逢つて聞いて見ると、母親が繼母であつて、家庭が何となくつめたいものですから、遂ひ不良の仲間に入り、段々に悪い路へふみこんで行つたものです。婦人の方が後妻として嫁入る時は、妻として來たばかりでなく、同時に子供の母として嫁して來たと云ふ事を忘れぬやうにして貰ひたいのであります。後妻は子供の母になるのだと云ふ考がない爲に、色々家庭の悲劇を生むのであります。

又、私の知合の裁判官の家庭では、父母とも餘りに嚴格過ぎた爲めに、却つて子供を悪くしてゐるのがあります。其の家庭の子供は、實に行儀がよくて、何一つ缺點のないお子さんに見えるのであります。が、或る時隣の家へ遊びに來て、お菓子を盗み取りました。この例等も、眞の愛を注いでゐないから起つたのであります。

又、父兄の他に、祖父母等のある大家族があるところよく起ることありますが、子供が何か悪い事をして、父親に叱られると、母親がお詫に行く、兩親に叱られると祖母が出てお詫をする、といふのであります。之は、子供の性質を悪くするばかりでなく、親達の權威を害さしめるものであります。子

供を叱る時はよく考へて眞面目に叱り、決してお詫などを側からしてやるものではありません。子供の叱り方も、又眞の愛から出たものでなくてはなりません。

二、子供をよく了解すること。

親も、嘗ては子供であつた事を思ひ、子供を取扱ふ事は子供の心に歸つて貰ひたいものです。

卑近な例で申ししても、お湯等へ子供を連れてゆく時も、自分の體を標準にして計りますから、子供は熱さにたへられず泣き出すのです。親はそんな時子供を叱ります、子供の身になつて見たらどんなにつらい事せう。

子供の誕生日にも、母親がおいしい料理をつくつて、両親もお祖母さんも一緒になつて、目かくしをするとかすればどんなによろこぶ事せう。

子供を思ふ親は、子供の心を了解することに意を用ひねばなりません。

三、子供のゐる場所を用意する。

親は子供のゐる場所を與へてやらなければなりません。多くの家庭には、子供のゐるところが少しもないではありませんか、そうして六人も七人も子供

があるのですから、何といふ矛盾したことでせう。

よくお母さん方は、家には子供が五人ありて、毎朝學校へ出る支度ばかりでも大したものだと云つて不平を云ふのを聞きます。それは、子供の室がないからで、八人に八疊、六人に六疊でもよくありますから、そこを子供の室として、机や行李を與へて置けば、お母さん、「袴が見えない」、「リボンを出して下さい」と朝毎の騒ぎをせすにしまふことが出来ます。

子供等にはどうが居所を與へて下さい。

四、不出來な子供を恨んではならない。

この子供は、運動會だつて負けてばかりゐるし、學業成績は丙ばかりだ。何といふ馬鹿なものだらうと子供の悪いところばかりを數へ立てゝはなりません。

子供の悪いのは、親に責任があるからであります。昔から、胎教とて、「邪色見る勿れ、邪聲聞く勿れ、云々」と云つてゐるやうに、親の注意がなくては、よい子供に育て上げることは出來ないのであります。

それ故に、親はもし自分の子がよくなかつたら、親は手傳つてその子を少しでもよくするやうにせね

ばなりません。

五、氣立のよい、人情のある子供にしたい。

氣立のやさしい、人情ある子供、これこそ私共が一番望んでゐるところであります。孔子は仁と云ふ言葉を以て、釋迦は慈悲、基督は愛と云ふ言葉を以てあらはしてゐるものであります。かうした氣性を子供等の心に養ひたいものであります。乃木將軍はどうしてあのやうにすべての人の尊敬のまごとなりましたでせうか。それは、一方に於て勇將であつたと共に、一方に於ては涙ある、人情ある人格の方であつたからであります。凱旋して來ても、多くの息子や夫を殺した結果であると云つて、喜ばれませんでした。萬歳の聲とゝもに、息子を失ふて悲しんでゐる親、夫を失うて悲しんでゐる妻の身の上を思ひ出す等は、實に人情ある心の所有者であつたからでありました。

子供には、すべての場合に、親が氣立をやさしくするやうにし、友達の病氣の時は、訪問させてやるやうにし、誕生日の時はお祝にゆかせるやうにせねばなりません。(講演要旨、文責在記者)

静岡市に於けるコードモ愛護の宣傳

静岡市に於ける兒童愛護の宣傳の運動は五月五日に行はれた。

當日の概況

一、宣傳ビラ 宣傳ビラ一萬五千は各小學校兒童や各幼稚園の幼

兒の手で各家庭に配布された。

一、ポスター 出世の鯉の漉登りに因たる三百餘のポスターは市

内各要所の店頭商品陳列棚に飾られた。

一、ことも發育くらへ 満三歳以下のこどもの發育くらへは静岡

幼稚園と櫻花幼稚園とで行はれたこの仕事に市醫

師會は非常の奉仕をされ醫師十三名と看護婦十二

名は兩所に分たれ朝より診査に取かゝられた、小

學校教員方と幼稚園保母とは之れを補助した生憎

の雨天にも子供の養護に熱心な親御は續々來會さ

れて愛兒の診査を受けられたもの三百名其れく

診査の結果一等より五等まで十五名の優良發育者

に賞品を與へた。

一、愛護の講演會 この夜市内托兒所、寺院、幼稚園に於て愛護

講演と活動寫眞とを行つた何れも三百餘名の聽講

があつた。

一、愛護の手拭賣 コドモ愛護の意匠を凝らした愛護の手拭五百

反が飛ぶ様に賣れた。

かくてこの日を通して忘れぬコードモの養護に手答へのあつた宣傳が行はれたことを主催側も喜ばれた次第であつた。